

秋季

県高校野球

第2日

秋季県高校野球選手権は第2日の17日、県内3球場で8強入りを懸けた2回戦8試合を行い、三沢商は一時6点差を追う展開から同点に追い付き、延長十五回の末、青森商に8-7でサヨナラ勝ちした。青森は主戦三浦が五所商・山本との投手戦を制し、2-1で勝利した。夏の県王者・青森山田は、八工大を一で退けた。春秋の県大会で初勝利を挙げた八戸高専は勢いそのままに弘前工に勝利。このほか五所工、八学光星、弘前東、聖愛も8強入りを決めた。大会第3日の準々決勝4試合は19日、はるか夢(弘前市)、県営(青森市)の2球場で実施する。

(本紙取材班)



光星盤石コールド勝ち

むつ工、反撃1点に終わる

▽2回戦(県営)
 むつ工
 0000010
 30001301
 1x81
 八学光星
 (七回コールド)

(む) 櫛引、布施 伊勢田和
 (光) 横澤、竹中 瀬川
 △二塁打 川口(む) 近藤
 秋山2、尾崎(光)
 △暴投 布施(む)

【評】八学光星は初回、先頭打者・近藤の二塁打を皮切りに、四球や失策も絡んで3点を先制。五回も四球を挟んだ5連打で3点を追加した。七回には秋山の右前適時打で8点目を挙げ、コールド勝ちを決めた。

むつ工は六回にエラーや犠打で2死二塁の好機をつくり、川口の右前適時打で1点を返したが、

【むつ工―八学光星】4回裏、八学光星1死三塁、横澤の二塁ゴロの間に秋山がかえり、4点目。捕手・伊勢田和＝県営

複数得点に結びつけることはできなかった。

「野球の質、まだ低い」

○：八学光星は初戦を危なげなく勝利したが、仲井監督は「らしくないエラーがあったりと、野球の質がまだまだ低い」と選手に反省を促した。

七回裏無死二・三塁で、1点を取ればコールドが決まる場面。内野ゴロを打った武岡に対し、仲井監督は「犠飛で1点を取れるのに、フライを打とうという考えはなかったのか」と手厳しい。

夏の甲子園を逃して悔しい思いをしたが、力はある選手たち。「甲子園で上位に行くレベルを見据えてやってほしい」と、選手を鼓舞した。